

科目名	創造的思考3：デザイン思考
担当教員	祇園 景子
開講区分	第2クォーター
曜日・時限	月2
場所	情報価値創造教育棟V105セミナー室（Vルーム）
授業のテーマ	本授業では、デザイン思考を理論的に理解するとともに、実践的プロジェクトを通じて、ユーザーの潜在ニーズを発見し、新たな価値を創造するプロセスを体験的に学びます。Empathize（共感・理解）・Define（問題定義）・Ideate（創造）・Prototype（プロトタイプ）・Test（検証）の一連のプロセスを通じて、複雑で不確実性の高い社会課題に対する創造的解決能力を身につけることを目指します。
授業の到達目標	<p>本授業を通じて、以下について身につけることを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デザイン思考の理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン思考の基本概念を理解し、そのプロセスを説明できる。</li> <li>・デザイン思考に必要とされるマインドセットを理解し、それを実践できる。</li> </ul> </li> <li>2. 多視点からの問題・課題設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークを通じて、多様な立場や価値観を理解できる。</li> <li>・複数の視点を踏まえて、問題・課題の階層性を意識して適切な問いを設定できる。</li> </ul> </li> <li>3. 多様性を活かした問題解決 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者とのコミュニケーションを通じて、自らの学びにつなげることができる。</li> <li>・グループメンバーと協働して、問題解決プロセスを実践できる。</li> </ul> </li> </ol>
授業の概要と計画	<p>第1回 デザイン思考概観 インTRODakションと授業の目的説明 デザイン思考の体験的理解</p> <p>第2回 デザイン思考とは デザイン思考のプロセスとマインドセット 価値創造の考え方</p> <p>第3回 Empathize（共感・理解） 行動観察・インタビューの基礎 事実と解釈</p> <p>第4回 Empathize（共感・理解） 共感・理解のための情報整理 主観と客観</p> <p>第5回 Define（問題定義） インサイトの導出 問題と課題の階層性</p> <p>第6回 Ideate（創造） 創造性理論 発散思考と収束思考</p> <p>第7回 Prototype and Test（プロトタイプとテスト） アイデアの具体化 Verification（検証）とValidation（妥当性確認）</p> <p>第8回 まとめ プレゼンテーションとフィードバック これまでの学びの振り返り</p>

成績評価方法	<p>授業参加・ディスカッション（40％） ・授業中の積極的な発言や議論への貢献度 ・他者の意見を踏まえた発展的な発言 ・グループワークにおける主体的な参加態度 ・デザイン思考のプロセスに沿った思考 ・試行の実践 課題レポート（30％） ・各テーマに基づくミニレポートの提出 ・情報の収集 ・整理 ・構造化、論理的な構成と考察 グループプレゼンテーション（10％） ・与えられたテーマに関するグループ発表内容 ・論理的な説明硬性、チームワーク、質疑応答の対応力 最終レポート（20％） ・授業を通じて学んだデザイン思考の理解度 ・思考プロセスに対する自己省察 ・プロジェクト経験の理論的整理 ・今後の学習 ・研究 ・実践への応用可能性の考察</p>
成績評価基準	<p>A（90-100％）デザイン思考のプロセスを深く理解し、共感に基づく適切な課題設定と仮説検証を一貫して実践するとともに、協働においても主体的かつ創造的に貢献している。</p> <p>B（80-89％）デザイン思考の基本プロセスを理解し、課題設定から検証まで概ね適切に実践し、協働や議論にも継続的に参加している。 C（70-79％）デザイン思考の基本的理解はあるが、課題設定や検証の深さ、プロセスの一貫性に不十分な点が見られる。</p> <p>D（60-69％）デザイン思考の理解が表層的であり、課題設定や仮説検証が不十分で、協働への関与も限定的である。</p> <p>F（59％以下）デザイン思考の基本的理解およびプロセスへの主体的な取り組みが認められない。</p>
履修上の注意	<p>グループ討論があります。欠席をするとチームを組み替える必要がありますので、欠席する場合や遅刻する場合は必ず事前に連絡をしてください。欠席した回の内容は、クラスメートに聞いて補ってください。特別な理由がない限り遅刻 ・早退は厳禁です。</p> <p>受講を希望する場合は、4月21日までにV.SchoolHPの「受講登録」から申し込んでください。なお、受講に際してはスクール登録が前提となります。</p>
事前・事後学修	<p>次回授業時のグループワークや発表の準備作業としてA4紙1枚程度のミニレポートが課されます。また、自身の学びを振り返る最終レポートを提出してもらいます。提出遅れは未提出とみなします。</p>
学生へのメッセージ	<p>本授業では、正解を覚えるのではなく、問いを立て、試し、学び続ける力を養います。試行錯誤しながら、新しい価値を生み出すプロセスを体験しましょう。</p>

教科書	
タイトル1	Creative Confidence
著者名1	Tom Kelley & David Kelley
出版者1	William Collins
出版年1	2013
ISBN1	038534936X
タイトル2	クリエイティブマインドセット
著者名2	トム・ケリー & デヴィッド・ケリー
出版者2	日経BP社
出版年2	2014
ISBN2	4822250253
タイトル3	デザイン思考が世界を変える
著者名3	ティム・ブラウン
出版者3	早川書房
出版年3	2019
参考書・参考資料等	
タイトル1	Creative Confidence: Unleashing the Creative Potential Within Us All
著者名1	David Kelley and Tom Kelley
出版者1	William Collins
出版年1	2013
ISBN1	038534936X
タイトル2	クリエイティブ・マインドセット 想像力・好奇心・祐希が目覚める驚異の思考法
著者名2	デヴィッド・ケリーら
出版者2	日経BP社
出版年2	2014
ISBN2	4822250253
タイトル3	システム×デザイン思考で正解を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」
著者名3	前野隆司ら
出版者3	日経BP社
出版年3	2014
ISBN3	4822249948